みずほCustomer Desk Report 2019/05/07 号（As of 2019/05/06）

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.65	1.1185	123.77	1.3146	0.6973
SYD-NY High	110.96	1.1209	124.29	1.3190	0.7003
SYD-NY Low	110.29	1.1155	123.37	1.3082	0.6962
NY 5:00 PM	110.73	1.1200	124.07	1.3100	0.6985

NY DOW	26,438.48	▲ 66.47	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,123.29	▲ 40.71	日本10年債	-	-
S&P	2,932.47	▲ 13.17	米国2年債	2.3067	▲2.62bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.2925	▲3.35bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.4989	▲2.97bp
ｼｶｺﾞ日経先物	22,210	▲ 280	独10年債	0.0050	▲1.85bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	-	-	英10年債	1.2145	▲0.25bp
DAX	12,286.88	▲ 125.87	豪10年債	1.7340	▲5.85bp
ハンセン指数	29,209.82	▲ 871.73	USDJPY 1M Vol	5.70	0.65%
上海総合	2,906.46	▲ 171.87	USDJPY 3M Vol	5.95	0.38%
NY金	1,283.80	2.50	USDJPY 6M Vol	6.33	0.23%
WTI	62.25	0.31	USDJPY 1M 25RR	-1.38	Yen Call Over
CRB指数	180.68	▲ 1.09	EURJPY 3M Vol	7.00	0.43%
ドルインデックス	97.56	0.04	EURJPY 6M Vol	7.26	0.18%

アジア

週末にﾄﾗﾝﾌﾟ大統領がﾂｲｯﾀｰ上で、2,000億ﾄﾞﾙ相当の中国製品を対象に10%から25%に関税を引き上げると表明。引き上げのﾀｲﾐﾝｸﾞは今週10日(金)としており、またこれまで関税を課していない3,250億ﾄﾞﾙ相当の中国製品に対しても、25%の関税を「速やかに課す」とした。これを受けて中国政府も8日(水)からﾜｼﾝﾄﾝで再開予定の米中通商協議を中止する方向で検討していると報じられた。ﾘｽｸｾﾝﾁﾒﾝﾄの急激な悪化を背景に週明けのﾄﾞﾙ円は先週末ｸﾛｰｽﾞ対比、大幅に円高水準でｽﾀｰﾄ。かかる中、ｱｼﾞｱ時間のﾄﾞﾙ円は110.65ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。一段と円高が進行する流れを受けて、ﾄﾞﾙ円は一時110.29安値をつけた。しかし、売り一巡後は110.60近辺まで反発。その後、中国代表団が訪米準備をしているとの一部報道に、劉鶴中国副首相の訪米期待が残り、ﾄﾞﾙ円は一段とｼｮｰﾄｶﾊﾞｰの動きが強まる中で110.85近辺まで上昇した。結局、110.74ﾚﾍﾞﾙで海外市場に渡った。（香港時間14:30）

ロンドン

休場

ニューヨーク

ﾄﾞﾙ円は110.85ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は110.96まで上昇する場面もあったが、米金利が低水準での推移を続ける中、上値が重く、110.79までじりじりと下落。その後、ﾀﾞｳ平均が下げ幅を縮小する動きにｻﾎﾟｰﾄされ、110.93まで上昇するが、終盤にﾗｲﾄﾊｲｻﾞｰUSTR代表が 「米政府は10日に対中関税を引き上げる」と述べたほか、ﾑﾆｭｰｼﾝ米財務長官の「米中貿易協議の方向が大きく変わった」との発言にﾄﾞﾙ売りが強まり、110.71まで下落し、110.73ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙはﾕｰﾛ圏4月ｻｰﾋﾞｽPMIや3月小売売上高が予想を上回ったが、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.1199ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は1.1179まで下落する局面もあったが、特段のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝが見当たらない中、下値は限定的だった。午後は米金利が低水準での推移を続ける中、ﾕｰﾛの買い戻しが先行し、1.1209まで上昇。終盤は小幅反落し、1.1200ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：山本・森谷

【昨日の指標等】

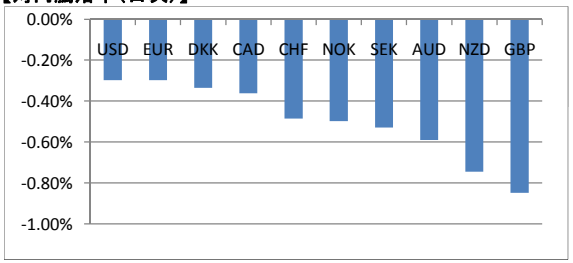
Date	Time		Event		結果	予想
5月6日	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	4月	54.5	54.2
	10:45	中	CaixinPMIコンポジット	4月	52.7	-
	16:50	仏	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	4月	50.5/50.1	50.5/50.0
	16:55	独	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	4月	55.7/52.2	55.6/52.1
	17:00	欧	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	4月	52.8/51.5	52.5/51.3

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
5月7日	15:00	独	製造業受注	3月	1.4%	-4.2%
	13:30	豪	RBAキャッシュレート	-	1.25%	1.5%
	20:00	米	カプランダラス連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.20	1.1150-1.1250	123.00-124.50

【マーケット・インプレッション】

本邦大型連休中のドル円相場は下落した。4/26発表の米第1四半期GDP速報値が市場予想を大幅に上回ったことからドル円は一時、連休中高値となる112.03円まで上昇。ただ、112円台では売り圧力が強く、すぐに111円台後半に押し戻されると、4/30発表の中国4月PMIの弱い結果にドル円は111.50円割れ。FOMCに向けて一旦、111円ちょうど近辺まで続落したものの、パウエルFRB議長が現状の政策スタンスは適切と表明、市場のやや行き過ぎた利下げ見通しを後退させたことでドル円は111円台半ばまで反発した。5/3発表の米4月雇用統計は平均時給がやや弱かったものの、非農業部門雇用者数変化や失業率は良好な結果となりドル円相場に方向感は出なかった。前週末にトランプ米大統領が2,000億ドル相当の中国製品に対する関税を25%に引き上げるとツイートしたことを受け、5/6のドル円相場はギャップダウンしてオープン、一時、連休中安値となる110.29円をつけるも、米株が下げ幅を縮小させたこと等を受けて110円台後半まで値を切り返した。本日のドル円相場は、軟調推移を予想する連休中のディップを拾えているとも考えられるなか。本邦実需勢の買いによるサポートは限定的か。米中貿易摩擦に対する警戒感からリスクセンチメントの悪い状態が継続すると見込む。連休明けの日経平均を横面に眺めながら、ドル円相場はクロス円を含めて上値の重い展開を予想する。